

# (エ) ネットワーク経路制御技術

目標: 多様なサービスを安定的に提供するためにネットワークの経路をダイナミックかつシームレスに制御する技術の確立

平成17年度  
の成果

## ドメイン間連携技術

複数ドメインでも最適な経路を選択。

## 経路制御サーバ

配信サーバなど

## 品質保証技術

サーバ負荷も考慮して最適な経路を選択。

## モバイルアダプティブ 経路切替技術

移動時にも品質確保。

品質保証ユーザ(移動時)

## 動的負荷分散技術

エンド・エンド間で混雑を回避してベストエフォートトラヒックの品質向上。



経路制御サーバ(モニタ)



ユーザ

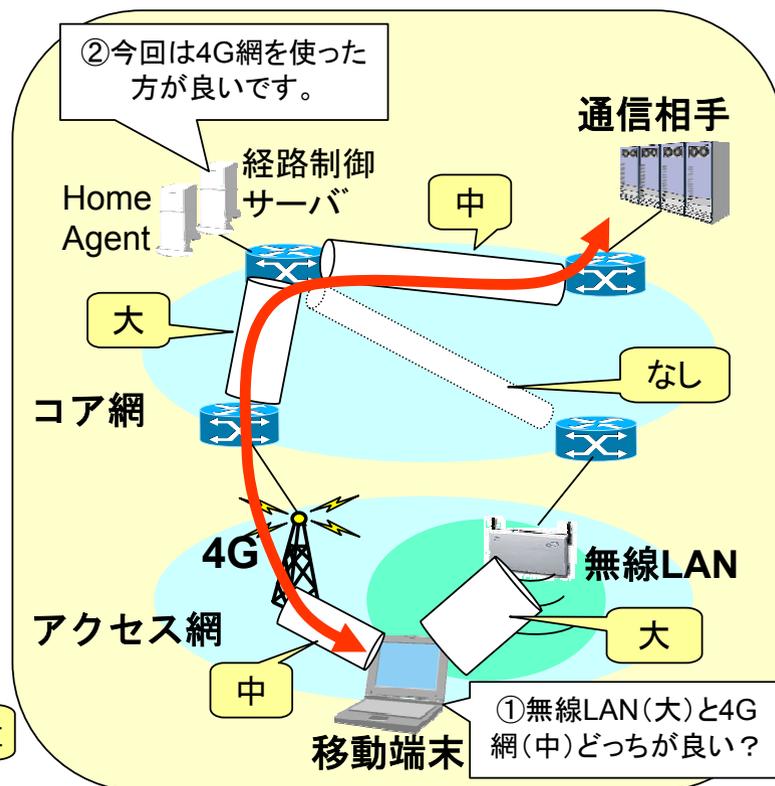
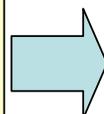
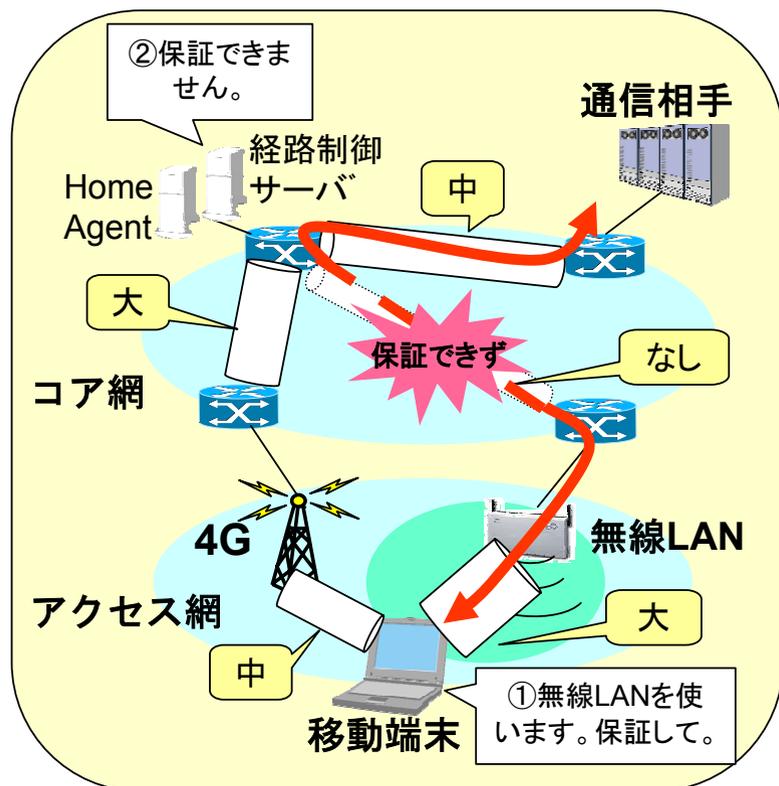
品質保証トラヒック

ベストエフォートトラヒック  
(品質保証なし)

いろいろなアクセス網が利用可能な状況において、  
最適なアクセス網とコア網経路での品質保証通信を実現

# コア網・アクセス網連携制御方式

- ユーザに対してトータルで最適な経路を提供する
- ネットワークの資源も有効利用され、より多くの高品質な通信を提供できる

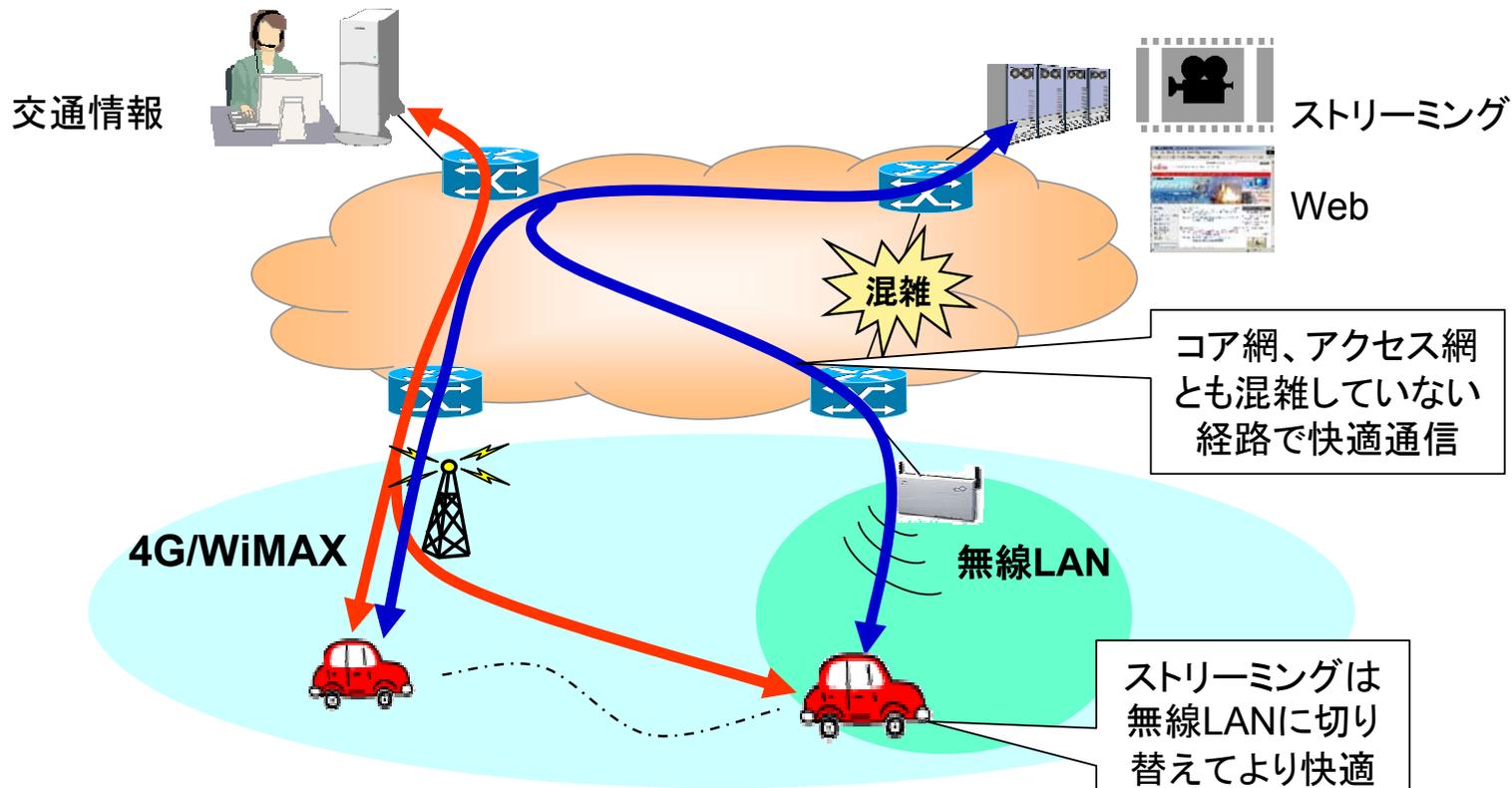


- 従来: 最適なアクセス網を利用しようとしたが、コア網で保証できなかったケース

- 連携して最適経路制御を行うことにより、ネットワークが最適なアクセス網を教えてくれ、保証できるようになる

# サービスイメージ例：品質保証車載モバイル通信

- いろいろな種類のアクセス網に接続可能な車載端末からインターネットに接続



- 交通情報/VoIPは、なるべく広範囲なアクセス網を使い、低遅延を保証
- ストリーミングやWebは、なるべく大容量なアクセス網を使い、広帯域を保証
- ネットワーク(コア、アクセス)の混雑状況も考慮した経路選択